

中学校3年時皆欠席が、高校は皆出席で卒業

この3月は卒業時期。今日、県外の県立高校を卒業したA君が両親とともに来てくれた。高校の地元の町のミカンジュースを頂いた。

3年半程前、相談を受け対応したが、当フォーラムで出席認定を受け勉強していたものの、終にはB中学校には通えなかった。しかし、地域魅力化プロジェクト国内留学支援を行っていた私は、そんな彼に県外2県の県立高校を紹介した。父親と共に両県の高校に行き、その一つ県立C高校進学を決め、推薦入試に受験し合格した。

親元を離れた寮生活は、彼の自立を促進した。まず1年生の時、1日も休まず皆出席で、学校と両親を驚かせた。しかも、テニス部に入り、テニス部も休むことなく頑張った。小学校の時からあの中距離日本代表を生んだ陸上クラブに所属したこともあり、2年の体育祭ではリレーでアンカーを走り、2人を抜き、優勝。ヒーローとなった。おまけに、地元の彼女もできた、と夏休み帰省した時に来てくれた。2年も引き続き、皆出席。3年ではテニス部部長も務めあげ、地域芸能参加で表彰もされた、という。1日病気で遅刻したが、結果、高校3年間、皆出席となった。そして、彼の地元の大学の経営学部を受験。合格して、兄と同様、大学に進んだ。